

新電力を考える集い

ご存知ですか！地域新電力って・・・

原発ゼロ・温暖化防止へ

カギは自然エネルギーの地産地消



語ります・・・

磯部達・(株)みやまスマートエネルギー社長(福岡県)

報告します・・・**新井公夫・秩父市環境立市推進課長**

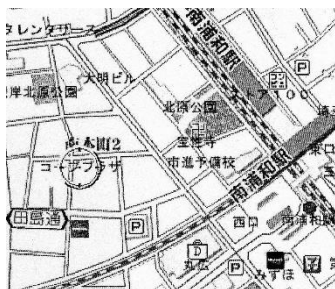
秩父新電力づくりのとりくみ

日時 2018年6月9日(土)

午後2時30分～5時

会場 コーププラザ浦和大会議室

(南浦和駅西口から5分)



講演・報告の後、質疑討論の時間を予定
資料代 500円

いま、日本はエネルギー政策の大きな岐路にたっています。世界は、原発からも、火力発電からも脱却、自然エネルギーの活用に大きくカジ

を切っています。ところが、日本では、あいかわらず、原発への依存、火力発電所の増設などを推進、太陽光・風力・バイオマス・小水力・地熱などの自然エネルギーは変動し、使いにくいとされ、2030年の政府の目標は22～24%とされています。しかし、この目標はすでに世界が実現している水準です。

原発は、事故を起こせば地域と社会に取り返しのできない被害をあたえ、放射性廃棄物の始末もできず、生命と共存できません。原発からのすみやかな脱却が求められています。安全を考えればどんどんコストは上昇。安く作ろうと安全性を軽視した結果が福島事故です。しかも原発推進のために国民への莫大な負担が過去・現在・未来にわたります。

日本には、私たちが使うエネルギーを賄うだけの豊かな自然エネルギーがあります。この自然エネルギーは、地域の財産であり、その産みだす利益は地域に還元されるべきものです。

これを実現するカギは、地域で市民と自治体が力をあわせて自然エネルギーを開発し、消費する、エネルギーの地産地消、自産自消をすすめることです。産みだされた利益は地域の課題—福祉や教育、中小企業の振興に役立てられます。

いま、全国でこうした取り組みが始まっています。この先頭に立っているのが福岡県みやま市の地域新電力—みやまスマートエネルギー株式会社です。この社長をつとめておられる磯部達社長に講演していただきます。また、このみやまスマートエネルギーと業務提携して、地域新電力づくりに取り組んでいる秩父市の担当者にお話をさせていただきます。

九州ソーラーファーム7 みやま合同発電所



主催 NPO 法人埼玉自然エネルギー協会

連絡先 吉村 E-mail info@saine-2013.com 090-7843-8653

Fax 048-864-8686 HP <http://saine-2013.com>